

(6) 展 開

人権教育上の配慮

時 間	学 習 活 動	教 師 の 支 援	資 料・準 備	評価基準（評価方法）
10	<p>1 本時の学習のねらいと進め方について確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>おたがいの意見をよく聞き考えて、無人島に持っていく 7 つの品物を決めよう。</p> </div> <p>2 7 つの品物を選ぶためには、どのような観点で話し合いすればよいかを確認する。</p>	<p>・魔王が出した無人島での生活の条件や前時までの学習の流れを確認しながら、学習に対する意欲を高めるようにする</p> <p>ただ決めるのではなく、お互いの意見を大切にして話し合うことを確認する。</p> <p>・どのような観点で持っていく道具を絞ったらよいかを考えることで、よりよい話し合い活動になるよう導きたい。児童から出されなかった観点については、教師が補足する。 * 共通の道具はないか。 * 現地にその代わりになるものはないか * ないと困るものなのか * 個人的な希望なのか、みんなの生活に役立つものか</p>	<p>・無人島の絵 ・無人島での生活の条件カード ・本時のねらいをカードで示す。</p>	
30	<p>3 グループごとに話し合いをする。</p> <p>* 4 ～ 5 名の 5 グループ</p>	<p>・効率的に話し合いが進むよう、各自の持っていきたい道具を書いたカードを準備させる。</p> <p>・机間指導しながら、話し合いの観点に沿ってまとめられるよう助言する。</p> <p>自分の考えに固執して話し合いが進まない場合は、理由をはっきり述べたり、友達の意見をよく聞き、賛成・反対・修正などの立場を明確にしたりして発言するよう助言する。</p> <p>・決まった道具をメモしたり、削った道具については、どんな理由でそう決めたのかをメモしたりし、各自でわかるようにしておく。</p> <p>7 の道具が決定したら、本時のねらいに沿った発言ができた友達を紹介し合うようにする。</p>	<p>・ワークシート ・無人島へ持っていきたい道具のカード</p>	<p>話：無人島へ持っていきたい道具を理由を付けて説明したり、友達の考えを正しく聞き取ったりすることができる。 （発言・観察）</p> <p>書：友達の考えの要点をメモすることができる。 （観察・ワークシート）</p>
5	<p>4 学習の振り返りをする。</p>	<p>・振り返りを発表することで、本時のがんばりを認め合い、次時の学習への意欲につなげたい。</p>	<p>・振り返りカード</p>	